

千葉県海業推進基本構想 概要版

令和7年5月

基本構想概要版 <目次>

1. 海業推進の背景 P 1 ～ 5

- 構想策定の趣旨
- 海業の定義
- 全国事例
- 国の動き・新制度

2. 現状分析 P 6 ～ 2 9

- 千葉県概要
- 千葉県の漁業
- 千葉県の漁港
- 千葉県の地域資源
- 千葉県の海業
- 地域別の現状【内湾地域】・【内房地域】・【外房地域】・【銚子・九十九里地域】
- 千葉県の特徴整理
- 地域別のまとめ
- 千葉県全体の課題
- 地域別の課題

3. 目指す姿 P 3 0 ～ 3 1

- 千葉県全体の方針
- 千葉県の将来像

4. 今後の取組 P 3 2 ～ 4 1

- 地域別方針【内湾地域】・【内房地域】・【外房地域】・【銚子・九十九里地域】
- 経済効果分析
- 千葉県における海業の推進体制

1.海業推進の背景 <構想策定の趣旨>

- ・海洋環境の変化等による漁獲量、水産物の消費量、漁業就業者数等の減少により漁村の活力が低下している一方で、漁村は新鮮な水産物や豊かな自然環境等の多くの地域資源を有する。
- ・水産庁では令和4年3月に閣議決定された水産基本計画及び漁港漁場整備長期計画において、「海業の振興」を位置付け、漁村のにぎわいの創出、地域の所得向上と雇用機会の確保により、地域の水産業を活性化する海業の取組を促進している。
- ・千葉県においても、既に内湾や内房地域で漁協の食堂事業等が盛んであるが、千葉県全体で効率的に海業を推進していくため、法改正による制度を活用し、地域の特色に合った海業を進めていくことが求められる。



千葉県内を4地域（内湾、内房、外房、銚子・九十九里）に分け、その特性を踏まえた上で、各地域の海業の展開の可能性を整理し、目指す姿として基本構想を策定する。

1.海業推進の背景 <構想策定の趣旨>

【各地域の範囲】

地域	範囲
内湾地域	浦安市から富津市北部に至る範囲
内房地域	富津市南部から館山市に至る範囲
外房地域	南房総市白浜町からいすみ市に至る範囲
銚子・九十九里地域	一宮町から銚子市に至る範囲



(千葉県・圏域総合水産基盤整備事業計画)

1.海業推進の背景 <海業の定義>

- ・「海業」は昭和60年に、三浦市の久野市長が最初に語ったと言われている。¹⁾ 三浦市では、『海の生業』を総じた言葉であり、水産業を核に商業、観光、工業などあらゆる分野を結び付けた複合的産業としている。²⁾
- ・東京海洋大学の婁教授は、海業を「国民の海への多様なニーズに応えて、水産資源のみならず、海・景観・伝統・文化などの多様な地域資源をフルに活用して展開される、漁業者を中心とした地域の人々による生産からサービスに至るまでの一連の経済活動の総称」としている。³⁾
- ・平成21年の「漁村活性化のあり方について 中間とりまとめ」⁴⁾ では、海業は「所得機会の増大を図るため、漁村の人々が、その居住する漁村を核として、海や漁村に関する地域資源を価値創造する取組」としている。
- ・そして、漁港漁場整備長期計画（令和4年度から令和8年度）では、海業を「海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であって、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるもの」として定義した。

1) 三浦市役所、株式会社三浦海業公社『三崎フィッシャリーナ・ウォーフ20周年記念誌』,令和3年12月

2) 吉田英男三浦市長講演「海業の誕生と発展」, 笹川平和財団海洋政策研究所「海洋フォーラム『漁港の活用を通じた海業創出と地域活性化』」,令和4年9月

3) 婁小波『海業の時代』社団法人農山漁村文化協会,平成25年

4) 漁村活性化のあり方検討委員会「漁村活性化のあり方について 中間取りまとめ」

1.海業推進の背景 <全国事例>

魚食レストラン（青空食堂から常設食堂へ）

静岡県沼津市いけすや



魚食体験（釣り体験+さばき体験+魚食）

福井県小浜市ブルーパーク阿納



プレジャーボート保管

広島県福山市横田シップステーション



<https://jfyokoshima.com/>

漁船クルーズ

岩手県田野畑村
北山崎サッパ船アドベンチャーズ



<https://www.vill.tanohata.iwate.jp/kankou/see/sappa-adventures.html>

漁業見学・体験

兵庫県坊勢漁協



<https://boze.or.jp/tour/>

直売所+海鮮バーベキュー

和歌山県有田市箕島漁港 浜のうたせ



<https://iko-yo.net/facilities/176092>

1.海業推進の背景 <国の動き・新制度>

漁港施設等活用事業制度の創設

- 漁港について、漁業上の利用を前提として、その有する価値や魅力を活かし、水産業・漁村を活性化する制度を創設。
- 地域の理解と協力の下、漁業上の利用を確保した上で、漁港施設・水域・公共空地を有効活用し、水産物の消費増進や交流促進に資する事業を計画的に実施。

■ 漁港施設等活用事業^{※1}の実施スキーム

基本方針【農林水産大臣】

- ・地域水産業の発展に資する漁港の役割や漁業上の利用の確保の考え方等を記載

活用推進計画【漁港管理者(地方公共団体)】

- ・地域水産業の実態を踏まえ、事業の内容や区域等を決定
- ・漁業利用に支障を及ぼさないための措置
- ・漁業者等の意見聴取等地域の合意プロセス

申請

認定

漁港活用の実施計画【事業者】

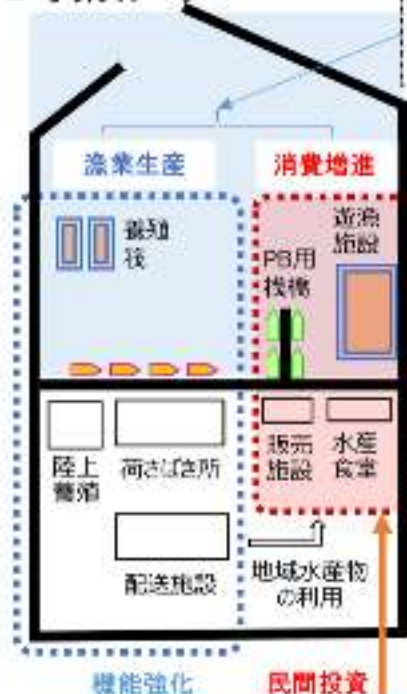
- ・漁港管理者の計画の下、創意工夫を活かして事業計画(地域水産業の消費増進や交流促進)を策定
- ・漁港管理者の認定を受けた計画に基づき、長期安定的に事業を実施

【長期安定的な事業環境の確保のための特別措置】

- ① 漁港施設(行政財産)の貸付け (最大30年)
- ② 漁港区域内の水域・公共空地の長期占用 (最大30年)
- ③ 漁港水面施設運営権(みなし物権)^{※2}の取得 (最大10年、更新可)

本来機能を発揮しつつ
安定的な事業環境を整備

■ 事業イメージ



漁業利用と海業利用の幅を拡げつつ、漁業生産活動と消費増進に資する取組が相乗的に地域水産業の発展を後押し。

交流促進



遊漁、漁業体験活動又は海洋環境に関する体験や学習の機会の提供その他交流促進に資する事業

消費増進



販売施設又は飲食店の設置及び運営その他水産物の消費増進に資する事業

※1 漁港施設等活用事業 漁港の漁業上の利用の確保に配慮しつつ、漁港施設、漁港区域内の水域、公共空地を活用し、当該漁港に係る水産業の発展及び水産物の安定に寄与する事業（水産物の消費増進、交流促進）

※2 漁港水面施設運営権 漁港施設等活用事業のうち、水面固有の資源を利用する遊漁や漁業体験活動、海洋環境に関する体験活動等の機会の提供を行うため、水面を占用して施設を設置し、運営する権利

2. 現状分析 <千葉県概要>

人口 世帯数

6,273,675人、2,916,604世帯
※千葉県毎月常住人口調査月報（令和7年1月1日現在）

人口は平成14年に600万人を突破。

人口の社会増は全国第3位。（2021年住民基本台帳人口移動報告）

自然 条件

平均気温：17.1℃（千葉）
年間降雪日数：9日（千葉）
※令和4年千葉県統計年鑑

三方を海に囲まれ、冬暖かく夏涼しい海洋性の温暖な気候。

南房総沿岸は、暖流（黒潮）の影響で冬でもほとんど霜が降りない。

交通 （東京から）

銚子へ 電車で110分、車で130分
勝浦へ 電車で 90分、車で110分
館山へ バスで 120分、車で110分

鉄道は東京からJR総武線・JR京葉線・京成線
道路は首都高速湾岸線・東京湾アクアライン・銚子連絡道路・東金
九十九里・九十九里有料道路・京葉道路・館山自動車道などで
アクセス可能。
成田空港があり、国内各地、世界各国からアクセス可能。

第1次 産業

漁業生産量：108,251 t
（全国第9位）※令和4年海面漁業生産統計調査
農業産出額：約3,676億円
（全国第4位）※令和4年生産農業所得統計
農水産物直売所：1,380事業体
※令和4年度6次産業化総合調査

水揚量日本一（令和4年まで12年連続）の銚子漁港、カツオで有名な勝浦漁港など、県内に68の漁港を有している。

落花生・だいこん・日本なしなどが全国1位で、全国でも有数の農業県。

県内各所にある農水産物直売所を通じて、地元の新鮮な農水産物を手軽に購入することができる。

観光 スポーツ

年間観光入込客数：137,734千人
※令和4年千葉県観光入込調査
海水浴場開設数：55箇所
※令和4年・千葉県HP

三方を海に囲まれ、マリンスポーツが人気の富津岬や66kmにも及ぶ日本最大級の砂浜海岸の九十九里浜など、県内各所でサーフィンや釣り、海水浴など海のレジャーを楽しむ。

2. 現状分析 <千葉県漁業>

【漁業の概要】

①漁業生産の動向

漁業生産量：108,251 t（全国9位）

主 な 魚 種：(全国1位) スズキ類、キンメダイ、イセエビ等
(全国上位) イワシ類、ブリ類、アワビ類、
アサリ類、ノリ类等

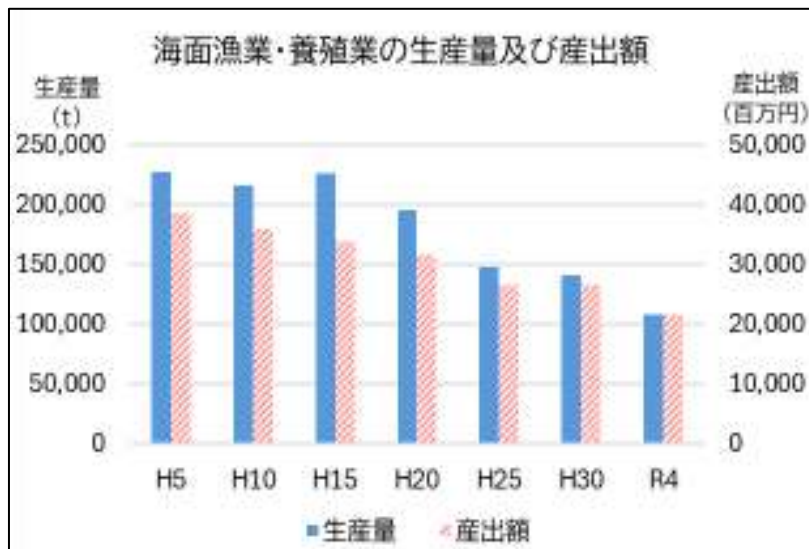
【動向】 海洋環境の変化、水産資源の減少等により
減少傾向が継続

②漁業就業者数の推移

漁業就業者数：2,672人

高 齢 化 率※：約43%
(65歳以上)

【動向】 平成5年と令和5年を比較して漁業就業者数は
約7割減少、高齢化率は上昇



(生産量：海面漁業生産統計調査、産出額：漁業産出額)



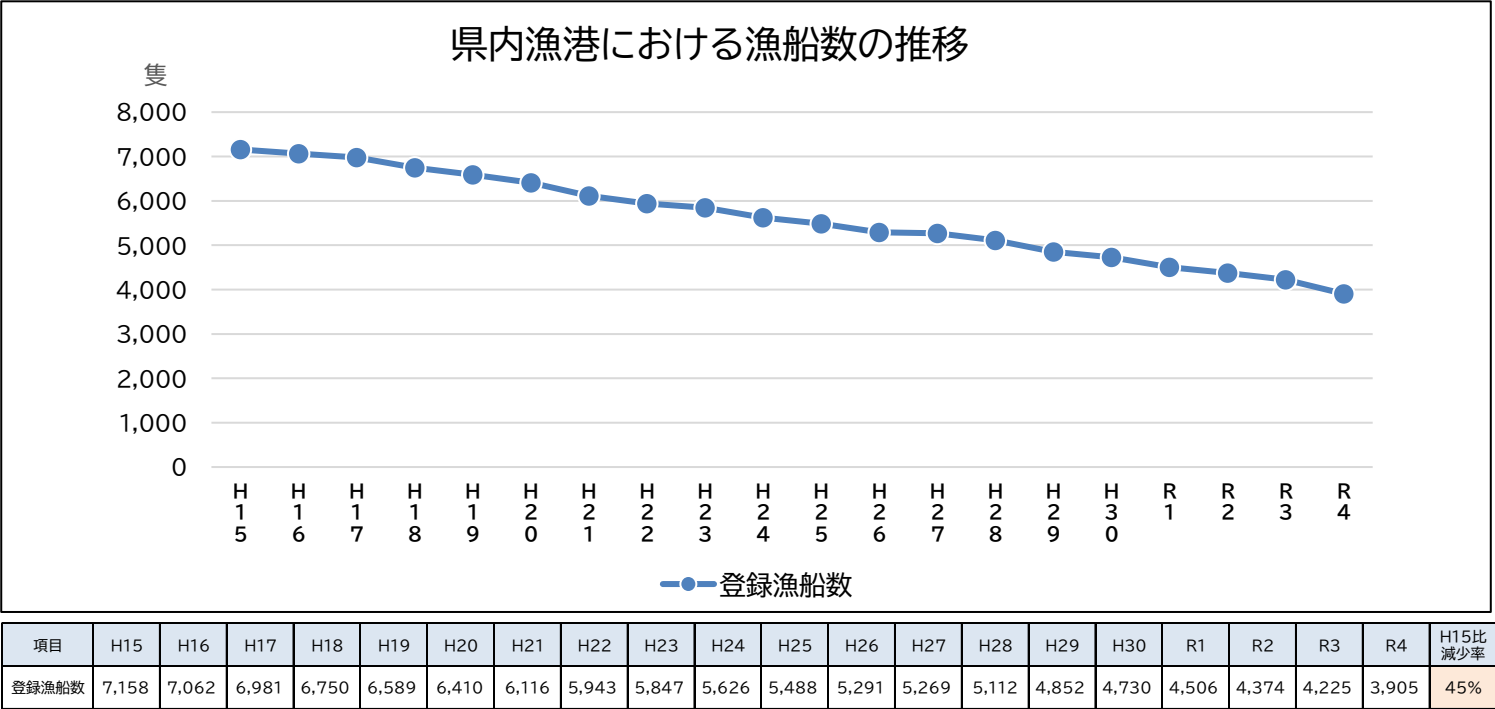
・生産量の低下や漁業就業者の減少、高齢化の進行等、厳しい状況に直面しているが、各地で水揚げされる多種多様な水産物を活かした海業の推進により、漁業者の所得向上と漁村地域の活性化が期待される。

※漁業就業者数に占める65歳以上就業者数の割合

2. 現状分析 <千葉県漁港>

【漁港の概要】

- ・県内には68の漁港が立地している（県管理19港、市町管理49港。約2/3が第1種）。
- ・多くの漁港は、昭和40年代から50年代にかけて集中して建設され、現在も使用されている。



（漁港港勢調査）

※漁港は、出漁に必要な物資の供給や漁獲物の陸揚げ等に限らず、水産物の流通、販売、加工、貯蔵等の水産業を支える多くの役割を担うほか、漁船係留や避難基地などにも利用されている。

【動向】

- ・漁業者の減少や高齢化、漁船や水揚量の減少等の理由により、漁港の施設や用地に空きが生じている状況となっている。

2. 現状分析 <千葉県地域資源>

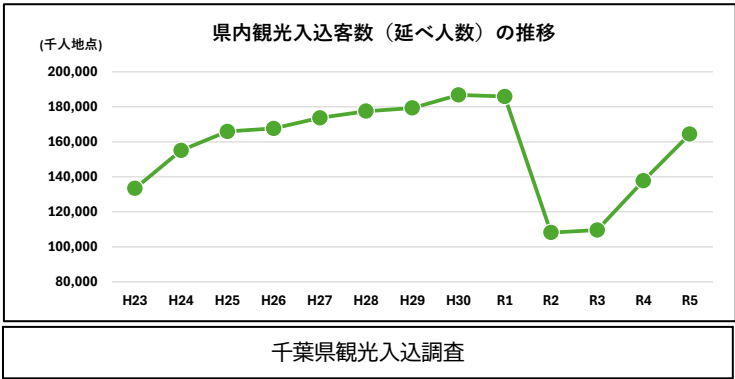
【観光客数の概要】

- ・多様な観光資源や交通アクセスの良さ等により、本県を訪れる観光客は多く、統計調査では全国上位に位置している。
- ・観光入込客数の推移は、新型コロナウイルス感染症の収束により回復・増加傾向に転じている。
- ・観光入込客総数の内、約80%は日帰り客となっている。

千葉県の主な観光統計データ

宿泊者数（全体）			外国人宿泊者数		
(万人)			(万人)		
1位	東京都	9,945	1位	東京都	4,364
2位	大阪府	5,070	2位	大阪府	1,876
3位	北海道	3,963	3位	京都府	1,213
4位	沖縄県	3,288	4位	北海道	713
5位	京都府	3,213	5位	福岡県	504
6位	神奈川県	2,827	6位	沖縄県	448
7位	千葉県	2,777	7位	神奈川県	323
8位	静岡県	2,186	8位	千葉県	322
9位	福岡県	2,112	9位	愛知県	201
10位	愛知県	1,886	10位	長野県	149

観光庁宿泊旅行統計調査	令和5年1月～12月
-------------	------------



○観光入込客数(実人数)の推計結果

(単位:千人回)

		総数	宿泊客			日帰り客		
			宿泊客 総数	県外客	県内客	日帰り客 総数	県外客	県内客
	日本人	113,726	23,530	19,113	4,416	90,197	41,257	48,939
	訪日外国人	4,424	3,685			739		
観光入込客 合計		118,150	27,215			90,935		

(令和5年千葉県観光入込調査報告書)

2. 現状分析 <千葉県地域資源>

【観光資源の概要】

<自然・景観>

- ・三方を海に囲まれており、各地域で様々な海の絶景や自然を楽しむことができる。
- ・銚子市は、日本ジオパークに認定されており、屏風ヶ浦等の見どころを巡ることで、銚子半島の自然史を学ぶことができる。



屏風ヶ浦
<https://www.choshikanko.com/photo/0136/>

<水族館等テーマパーク>

- ・鴨川シーワールドをはじめ、かつら海中公園、ふなばし三番瀬海浜公園等、県内には海洋生物とふれあうことのできる施設が多数立地している。



鴨川シーワールド

<道の駅>

- ・県内には30箇所の道の駅があり、新鮮な農水産物を購入することができる。（道の駅数全国8位 R6「道の駅」の登録数 国土交通省）
- ・特に房総半島に集中してしており、地域ごとに多様なコンセプトの道の駅がある。



道の駅
保田小学校

<大規模集客施設>

- ・東京湾近郊にアウトレットや多目的複合施設などの大規模集客施設が立地している。
- ・アウトレットは国内31箇所のうち、3箇所が県内にあり、そのうち、2箇所は内湾地域に立地している。（R6 一般社団法人 日本ショッピングセンター協会）



三井アウトレット
パーク幕張
<https://www.navitime.co.jp/poi?spot=02301-3000167>

- ・本県は多様な観光資源を有し、国内外から多くの観光客が訪れていることから、海業推進のためのポテンシャルは十分に有していると考えられる。
- ・また、近年の消費者のニーズは「モノ消費」から「コト消費」へとシフトしていると言われており、直売所やレストランなどの消費増進を図る取組に加え、マリンレジャーや漁業体験、宿泊を伴うコンテンツの開発等、漁村地域への交流促進を図る取組等による地域活性化が期待されている。

2. 現状分析 <千葉県地域資源>

【文化資源の概要】

<漁業文化>

- ・本県は、海とともに発展してきた地域であり、漁業とその文化が深く根付いている。
- ・漁業の歴史的な営みとして和田の捕鯨や東京湾の簀立て等が今も残っている。



鯨の解体

<https://www.pref.chiba.lg.jp/bunshin/chibabunkashisan/150-contest-tsuiakakouho2.html#No.67>

<食文化>

- ・三方を海に囲まれており、各地域で特色のある魚食文化が伝承されている。
- ・房総半島では、イワシ・サバ・アジ等が水揚げされることから、なめろうやさんが焼き等の郷土料理が親しまれている。



なめろう

<https://www.pref.chiba.lg.jp/suisan/sakana/sakana-variety/aji-namer.html>

<祭事・伝統>

- ・県内には、260を超える伝統文化※¹が残っており、漁村地域においても、先人たちが築いてきた伝統文化を体感することができる。
(R6 千葉県HP)



白浜海女まつり「夜泳」

https://www.cm-boso.com/tour_17.html

- ・白浜海女まつりは、県下最大級の夜祭で、夏の恒例行事となっている。

<博物館>

- ・県内には、約50の博物館※²が立地し、歴史、民俗、自然史等について学ぶことができる。
(R7 千葉県HP)
- ・県立中央博物館では、海や漁村の文化、自然等に関する情報を発信している。



令和6年度特別展
万祝博覧会
—海をまとう—

<https://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

- ・本県は多様な歴史、文化資源を有しており、各自治体の郷土博物館や民間施設においてそれらを鑑賞・学習したり、祭り等の行事に参加して体感することが可能である。
- ・こうした資源を有効に活用し、各地で関係者が連携し海業を推進することで、地域活性化につながることを期待される。

※1 祭り等の行事や伝統技術等 ※2 登録博物館、博物館相当施設

2. 現状分析 <千葉県地域資源>

【アウトドア・スポーツの概要】

<海水浴>

- ・18市町村で55箇所の海水浴場が開設されている。
(R6 千葉県HP)
- ・片貝海水浴場は、広大な白い砂浜と眺めの良さが特徴で、多くの海水浴客が訪れている。



片貝海水浴場

https://maruchiba.jp/feature/detail_134.html

<サーフィン>

- ・九十九里・房総エリアは、サーフィンスポットとして有名で、多くのサーファーが訪れている。
- ・また、房総半島を舞台とした「BOSOサーフィンミーティング」を県が開催しており、サーフィンの魅力を発信している。



「BOSOサーフィンミーティング」

<https://bososurfing.jp/#sec-1>

<釣り>

- ・沿岸の堤防や砂浜、磯などの様々な場所から釣りを楽しむことができる。
- ・遊漁船も多く、各地域で特色ある船釣りを楽しむことができる。
- ・館山港が「釣り文化振興モデル港」として国土交通省から指定されている。



遊漁船

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kankou/fishing/images/h27fishing-tour1-39.jpg>

<ダイビング>

- ・内房・外房地域は、年間を通じて様々な海洋生物に出会えるなど、魅力あるダイビングスポットとなっている。
- ・都心から近く、日帰りでも楽しむことができるのも魅力となっている。



勝浦ダイビングリゾート

<http://park10.wakwak.com/~katsuura-diving/>

<サイクリング>

- ・千葉県銚子市を起点に、神奈川・静岡・愛知・三重・和歌山の6県を結ぶ全長1,487 kmの「太平洋岸自転車道」が、令和3年5月31日にナショナルサイクルルートに指定された。



サイクリング

<https://greenfield.style/>

<その他>

- 【ゴルフ】ゴルフ場の数は全国2位の243箇所を誇る。(令和3年体育・スポーツ施設現況調査)
- 【キャンプ】県内各地の様々なロケーションで楽しむことができる。
- 【マラソン】「ちばアクアラインマラソン」が隔年で開催されている。



「ちばアクアラインマラソン」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/taiiku/sports/aqua/>

- ・本県は多様なアウトドア・スポーツが盛んであり、来訪者が各地域の海水浴場やダイビング、サーフィン、サイクリング等を体験することが可能である。
- ・サイクリングやサーフンは、市町村を跨いで広がっているため、広域連携の可能性もある。
- ・こうした資源を有効に活用し、各地で関係者が連携し海業を推進することで、地域活性化につながることが期待される。

2. 現状分析 <千葉県の実業>

【千葉県の実業概要】

- ・都市部に近い集客に有利な立地条件や、豊富な水産資源を背景に、従来から潮干狩り場や遊漁船業などの海洋性レクリエーションを提供する事業が展開
- ・1990年代以降、定置網で漁獲される多種多様な漁獲物を活かした漁協直営食堂事業が展開
- ・現在、プレジャーボート保管やダイビング事業なども加わり、多くの地域で様々な事業が展開

○潮干狩り



○食堂事業



千葉県の漁業取組状況

■内湾地域

漁協名	取組内容
市川市	プレジャーボート係留
朝市	遊漁船業
船橋市	プレジャーボート係留
	直売所・移動販売
	漁業体験学習・潮干狩り
金田	直売所
	食堂事業
	潮干狩り・養殖で遊び
新木更津市	直売所
	潮干狩り
富津	潮干狩り
新富津	直売所

■内房地域

漁協名	取組内容
天羽	遊漁船業
館南町保田	食堂事業
	直売所
	船舶修理・保管
	漁業見学
館南町勝山	食堂事業
	直売所
	ダイビング事業
	プレジャーボート係留
岩井富浦	食堂事業
	漁業体験(釣堀・筏など)
	直売所
館山	プレジャーボート係留
	ダイビング事業
西岬	観光定置網
波左間	ダイビング事業

■銚子・九十九里地域

漁協名	取組内容
九十九里	直売所
	遊漁船業
海匠	直売所(道の駅)
	遊漁船業
銚子市	食堂事業
	プレジャーボート係留

■外房地域

漁協名	取組内容
東安房	直売所・朝市
	遊漁船業
鴨川	フィッシャリーナ事業
新勝浦市	直売所・朝市
	遊漁船業
	ダイビング事業
勝浦	朝市
	食堂事業
夷隅東部	直売所
	遊漁船業

(凡例)

● プレジャーボート係留	● 食堂事業
● 潮干狩り・体験・ダイビング等	● 直売所・朝市等
● 遊漁船業	

※漁業者の取組については一部を記載

2. 現状分析 <地域別の現状>

内湾地域

【範囲・交通】

【範囲】 浦安市から富津市北部までの10市。

【交通】 東京から電車・車で30分から1時間程度。

東京湾アクアラインの利用により神奈川方面との高速バス、車でのアクセスが良好。

【漁業の概要】

【漁港】

- ・6市、8漁港、7漁協が立地。比較的規模の小さい漁港で構成。
- ・千葉港（葛南港区）及び木更津港の港湾についても漁業の根拠地となっている。

【漁獲量・金額】

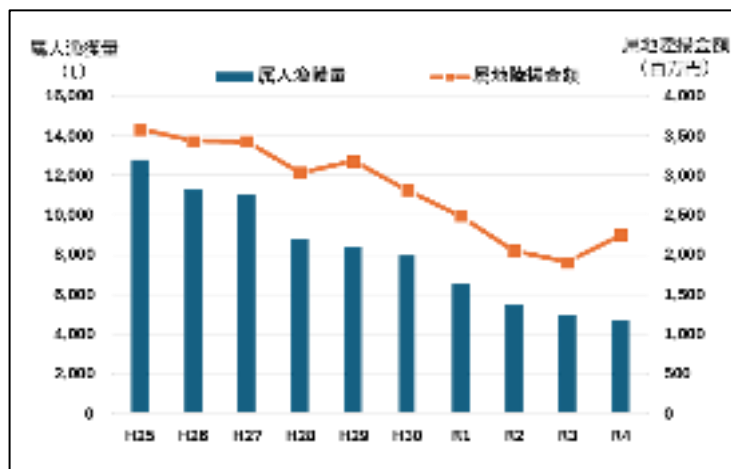
- ・属人漁獲量4,728 t、属地陸揚金額2,251百万円（令和4年漁港港勢調査）。
- ・平成25年の12,801 tから約1/3に減少。
- ・生産拠点漁港である、富津漁港（第2種）、金田漁港（第1種）、市川漁港（第1種）が地域内漁獲量の約83%を占める。

【漁業種類】

- ・刀養殖業、アサリ等貝類漁業、小型底びき網・まき網・潜水器・アナゴ筒・刺し網漁業等
- ※ 漁獲物は「江戸前」として高く評価されている。



○属人漁獲量、属地陸揚金額



○内湾地域の漁港

自治体	漁港	漁協
浦安市	浦安漁港	
市川市	○市川漁港	市川市漁協
船橋市	船橋港（港湾）	船橋市漁協
木更津市	○金田漁港	金田漁協
	牛込漁港	新木更津市漁協
君津市	小糸川漁港	富津漁協／新富津漁協
富津市（北部）	○富津漁港（富津地区）	富津漁協
	○富津漁港（下洲地区）	新富津漁協
	大貫漁港、佐貫漁港	天羽漁協（大佐和支所）

○生産拠点漁港：利用漁船又は登録漁船50隻程度若しくは属地陸揚金額1億円以上

2. 現状分析 <地域別の現状>

内湾地域

内湾地域の漁業カレンダー

漁法	対象魚種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小型 底びき網	スズキ、アナゴ、エビ類						←	→					
	コウイカ										←	→	
	ナマコ	←	→										
	貝類	←	→										
まき網	スズキ					←	→						
	コノシロ	←	→	←	→						←	→	
のり養殖	スサビノリ	←	→									←	→

【地域資源の概要】

○自然・景観	○漁業文化	○祭事・伝統	○博物館等	○食文化
・広大な干潟 ・東京湾、富士山等の眺望 ・工場夜景	・のり養殖 ・簀立て漁 ・投網	・水神祭 ・浦安の舟大工技術 ・吾妻神社馬だし祭り	・千葉県立中央博物館 ・千葉県立美術館 ・浦安市郷土博物館 ・君津市漁業資料館	・はかりめ丼 ・鉄砲巻き ・海堡丼 ・ふうかし
○テーマパーク等	○アウトドア・スポーツ	○大規模集客施設	○道の駅	○その他
・東京ディズニーリゾート ・船橋三番瀬海浜公園 ・マザー牧場 ・船橋アンデルセン公園 ・県立富津公園	・ちばアクアラインマラソン ・ウインドサーフィン ・釣り	・幕張メッセ ・木更津アウトレット ・海ほたる	・道の駅いちかわ ・道の駅あずの里いちほら ・道の駅木更津うまきたの里	・人気アニメの舞台 ・第二海堡 ・各種調理師専門学校 ・屋形船

【海業の概要】

【直売所】

・船橋市、金田、新木更津市、新富津漁協が地先で水揚げされた新鮮な魚介類や海苔等の加工品を販売。

【朝市】

・市川市漁協が開催（月1回）。

【潮干狩り】

・金田、新木更津市、富津漁協、（公財）船橋市公園協会が実施。

【その他】

・漁業者が簀立て遊び、地びき網体験、遊漁船業等を実施。

2. 現状分析 <地域別の現状>

内湾地域

【海業の概要】

○市川市漁協

- ・毎月第1日曜日に市川漁港で朝市を開催。
- ・地元特産物のホンビノス貝詰め放題や三番瀬クルーズ船などの体験型の催し物が楽しめる。



○船橋市漁協

- ・直売所「三番瀬みなとや」



https://maruchiba.jp/spot/detail_10077.html

○周辺施設等

- ・ふなばし三番瀬海浜公園



<https://www.city.funabashi.lg.jp/loca/location/001/p036571.html>

○金田漁協

- ・潮干狩り場
- ・直営食堂「浜っ子」
- ・直売所「あま海苔直売センター」、「ウミナカブラザ」



https://www.jf-kaneda.jp/amanori_05.html

○千葉ブランド水産物認定品(生鮮水産物)

江戸前船橋瞬めずき



三番瀬ホンビノス貝



木更津おかそだちサーモン



新富津漁協 江戸前オイスター



富津漁協江戸前白ミル



大佐和漁協江戸前あなご



千葉県HP

○新木更津市漁協

- ・直売所「岩根支所流通センター」
- ・潮干狩り場「牛込海岸」、「江川海岸」、「久津間海岸」、「木更津海岸」



<https://www.city.kisarazu.lg.jp/soshiki/keizai/norinsuisan/1/2369.html>



<http://www.jf-ushigome.or.jp/>

○富津漁協

- ・潮干狩り場



https://kazusa-futtsu.myl.net/mp/futtsu_furusato/?sid=51173

○新富津漁協

- ・富津シーサイドマルシェを開催



17

2. 現状分析 <地域別の現状>

内房地域

内房地域の漁業カレンダー

地域	漁法	対象魚種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
内房	立縄	キンメダイ、ムツ、メダイ	←											→
	刺し網	タチウオ	←						→					
		カマス								←	→			
		マダイ	→									←	→	
		イセエビ				←	→			←	→			
	海士	サザエ					←	→		←	→			
		アワビ類						←	→	←	→			
	定置網	ブリ、サバ、イワシ、アジ類	←							→		←	→	
	火光利用 さば・さんま	サバ類	←					→						
		サンマ								←	→			
	まき網	ブリ、サバ、タチウオ、イワシ、アジ類	←											→

【地域資源】

○自然・景観	○漁業文化	○祭事・伝統	○博物館等	○食文化
・富士山、伊豆大島等の眺望 ・房総フラワーライン ・沖ノ島	・火光利用さば・さんま漁業 ・海女文化 ・定置網漁業	・洲崎のミノコドリ ・安房やわたんまち ・かつこ舞 ・源頼朝伝説	・館山市立博物館 ・渚の博物館 (館山市立博物館分館) ・青木繁「海の幸」記念館	・なめろう ・さんが焼き ・房州寿司 ・館山炙り海鮮丼
○アウトドア・スポーツ	○歴史遺産	○道の駅	○その他 1	○その他 2
・海水浴 ・ダイビング ・釣り	・鋸山 ・館山城 ・館山海軍航空隊 赤山地下壕跡	・道の駅保田小学校 ・道の駅とみうら枇杷倶楽部 ・道の駅富楽里とみやま ・道の駅きよなん ・道の駅グリーンファーム館山	・フェリー航路 ・果物（びわ等） ・富裕層向けサーキット ・別荘地	・テレビドラマロケ地 ・魚著名人 ・県立館山総合高等学校 ・渚の駅たてやま ・たてやま夕日桟橋

【海業の概要】

【直売所・食堂】

・鋸南町保田、鋸南町勝山、岩井富浦漁協が運営。

【漁業体験】

・鋸南町保田、岩井富浦、西岬、波左間漁協で定置網漁の見学等を実施。

2. 現状分析 <地域別の現状>

内房地域

【海業の概要】

○鋸南町保田漁協

- ・ばんや（直売所、飲食施設、係留施設、観光船、漁業見学、入浴・宿泊施設）



<https://banya-grp.jp/>

○岩井富浦漁協

- ・体験漁業（干物作り、定置網漁、釣り筏）
- ・直売所「大漁市場」
- ・飲食施設「おさかな倶楽部」



<https://tairyuu.com/>

○千葉ブランド水産物認定品(生鮮水産物)

竹岡つりタチウオ



鋸南町勝山漁協
養殖江戸前真鯛



千葉県HP

○鋸南町勝山漁協

- ・直売所「活魚センター」
- ・飲食施設「なぶら」



https://maruchiba.jp/spot/detail_11316.html

○周辺施設等

- ・ダイビングスポット「浮島」



<https://chibadiving.com/archives/118>

○館山漁協

- ・飲食施設「相浜亭」
（現在は、民間が運営）



<https://pride-fish.jp/shop/index.php?c=shop2&pk=1401329327>

○周辺施設等

- ・ダイビングスポット「沖ノ島」



<https://chibadiving.com/archives/64>

2. 現状分析 <地域別の現状>

【範囲・交通】

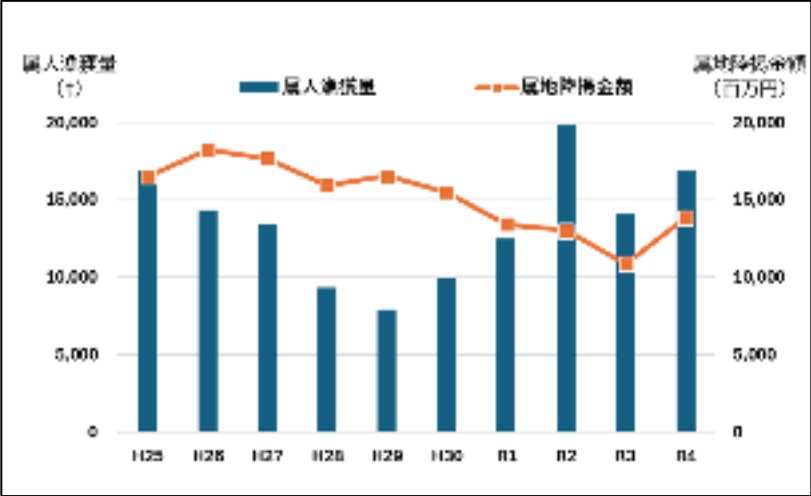
【範囲】 南房総市白浜町からいすみ市までの4市1町。
【交通】 東京から特急や高速バスを利用して2時間から3時間程度。
圏央道開通や房総スカイライン、鴨川有料道路の無料化により車でのアクセス性が向上している。

【漁業の概要】

- 【漁港】
- ・5市町、34漁港、6漁協が立地。県内の68漁港のおよそ半数を有し、うち20港が第1種漁港。
 - ・小規模な漁港が数多く存在。
- 【漁獲量・金額】
- ・属人漁獲量16,892 t、属地陸揚金額約13,857百万円（R4年漁港港勢調査）。
 - ・平成25年の16,950 tと比較すると、同等の漁獲量となっている。
 - ・流通拠点漁港である勝浦、鴨川、千倉の3漁港で地域内漁獲量の約49%、生産拠点である大原、小湊、天津、和田、乙浜の5港で約40%と大半を占める。
 - ・勝浦漁港には、県外的大型カツオ漁船が多く水揚げしている。
- 【漁業種類】
- ・アワビやイセエビなどの磯根漁業、定置網漁業、キンメダイやマグロなどの小型船漁業等



○属人漁獲量、属地陸揚金額



○外房地域の漁港

自治体	漁港	漁協
いすみ市	○大原漁港、太東漁港、岩船漁港	夷隅東部漁協
御宿町	御宿岩和田漁港	御宿岩和田漁協
勝浦市	◇勝浦漁港	勝浦漁協
	勝浦東部漁港、串浜漁港、松部漁港、 鵜原漁港、守谷漁港、浜行川漁港、大沢漁港	新勝浦市漁協
鴨川市	◇鴨川漁港、浜波太漁港、天面漁港、 太夫崎漁港、江見漁港	鴨川市漁協
	○小湊漁港、○天津漁港、浜荻漁港	東安房漁協
南房総市	◇千倉漁港、○和田漁港、○乙浜漁港、 白子漁港、忽戸漁港、川口漁港、平磯漁港、 七浦漁港、大川漁港、白間津漁港、名倉漁港、 野島漁港、川下漁港、白浜西部漁港	

○生産拠点漁港：利用漁船又は登録漁船50隻程度若しくは属地陸揚金額1億円以上
◇流通拠点漁港：取扱量5,000 t 又は属地陸揚金額10億円以上

2. 現状分析 <地域別の現状>

外房地域

外房地域の漁業カレンダー

地域	漁法	対象魚種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
外房	立縄	キンメダイ、ムツ、サバ												
	刺し網	イセエビ												
	曳縄	カツオ												
		クロマグロ												
		サワラ												
	海士	アワビ類												
	はえ縄	マカジキ、マグロ類												
		トラフグ												
		マダイ												
	まき刺網	ブリ、マダイ類												
		サワラ												
	たこつぼ	マダコ												
	定置網	ブリ、サバ、イワシ、アジ類												
	まき網	ブリ、サバ、イワシ、アジ類												

【地域資源】

○自然・景観	○漁業文化	○祭事・伝統	○博物館等	○食文化
・鯛の浦 ・鵜原理想郷 ・磯や漁村の景観 ・白間津のお花畑	・磯根漁業 ・海女文化 ・捕鯨	・大原はだか祭り ・鵜原の大名行列 ・白浜海女まつり ・波の伊八	・千葉県立中央博物館 分館 海の博物館 ・鯨資料館 ・鴨川市郷土資料館	・くじらのたれ ・おらが丼 ・勝浦タンタンメン
○テーマパーク等	○アウトドア・スポーツ	○道の駅	○その他 1	○その他 2
・かつら海中公園 ・鴨川シーワールド ・エデン（レストラン&スパ）	・海水浴 ・ダイビング ・サーフィン	・道の駅和田浦WA・O！ ・道の駅鴨川オーシャンパーク ・道の駅ちくら・潮風大国	・人気アニメの舞台 ・県立大原高等学校 ・いすみ鉄道	・避暑地 ・花摘み ・水産加工品（干物等）

【海業の概要】

【直売所】

・夷隅東部、新勝浦市、東安房の漁協が運営。地先で水揚げされた新鮮な魚介類等を販売。

【朝市】

・大原漁港、勝浦漁港、千倉漁港の3漁港の周辺で朝市が開催。

【陸上養殖】

・いすみ市で漁港を活用し民間企業がアワビの陸上養殖を実施。

2. 現状分析 <地域別の現状>

外房地域

【海業の概要】

○夷隅東部漁協

- ・食堂・直売所「いさばや」（大原漁港）
- ・港の朝市（毎週日曜午前開催）



<https://isumitoubu-gyokyo.jp/restaurant/>

○東安房漁協

- ・活き活き小湊ウオポート
- ・ちくら漁港朝市（第2・4日曜午前開催）



https://maruchiba.jp/spot/detail_10552.html



<https://bosomap.com/chikura-asaichi/>

○新勝浦市漁協

- ・勝浦駅前直売所



<https://www.pref.chiba.lg.jp/suisan/sakana/kyouryokuten/kurabu.html>

- ・勝浦ダイビングリゾート
- ・なめがわダイビングサービス



<http://park10.wakwak.com/~katsuura-diving/>



○鴨川市漁協

- ・フィッシャリーナ鴨川



<http://umitaro.net/harbor/>

○周辺施設等

- ・太海フラワー磯釣りセンター



<https://www.city.kamogawa.lg.jp/site/kamogawa-kanko/848.html>

○千葉ブランド水産物認定品(生鮮水産物)

太東・大原産真蛸



いすみ産船上活メサワラ



外房イセエビ



外房あわび



勝浦釣り寒マカジキ



勝浦産ひき縄カツオ



外房つりきんめ鯛



房州黒あわび



千葉県HP

2. 現状分析 <地域別の現状>

銚子・九十九里地域

【範囲・交通】

【範囲】 一宮町から銚子市までの5市4町1村に至る範囲。

【交通】 高速道路・有料道路の整備進展により、都心から車でのアクセスが容易。
一宮町まで1時間から1時間30分程度、銚子市までは2時間から2時間30分程度。
アクセス時間の更なる短縮等のため、現在、銚子連絡道路等の整備が進められている。
成田空港からの距離は、県内4地域の中で最も近い。

【漁業の概要】

【漁港】

・10市町村、5漁港、3漁協が立地。

【漁獲量・金額】

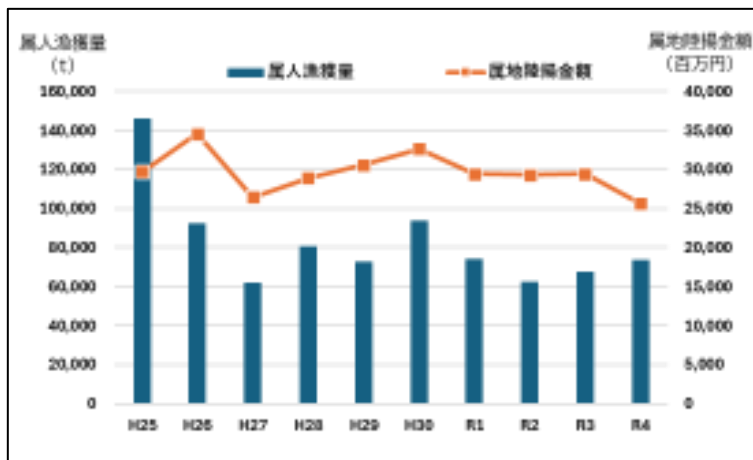
・属人漁獲量73,715 t、属地陸揚金額は約25,614百万円（R4年漁港港勢調査）
・平成25年145,989 tから約1/2に減少。
・流通拠点漁港である銚子漁港（特定第3種）、飯岡漁港（第1種）、片貝漁港（第4種）の3港で地域内の属人漁獲量の約99%を占める。

【漁業種類】

・銚子では、大型船によるイワシ、サバなどのまき網漁業、さんま棒受網漁業、沖合底びき網漁業のほか、小型漁船漁業（釣り・小型底びき網など）が盛んで、約200種の魚種が水揚げ。
・九十九里ではハマグリ、ナガラミなどの貝桁網漁業など。



○属人漁獲量、属地陸揚金額



○銚子・九十九里地域の漁港

自治体	漁港	漁協
銚子市	◇銚子漁港、○外川漁港	銚子市漁協
旭市	◇飯岡漁港	海匠漁協
横芝光町	栗山川漁港	九十九里漁協
九十九里町	◇片貝漁港	

○生産拠点漁港：利用漁船又は登録漁船50隻程度若しくは属地陸揚金額1億円以上

◇流通拠点漁港：取扱量5,000 t 又は属地陸揚金額10億円以上

2. 現状分析 <地域別の現状>

銚子・九十九里地域

銚子・九十九里地域の漁業カレンダー

地域	漁法	対象魚種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
銚子・ 九十九里	貝桁網	チョウセンハマグリなどの貝類	←											→
		ヒラメ										←		→
	刺し網	ホウボウ		←										
		イセエビ								←				
		ガザミ					←					←		→
		マダイ			←									
	船びき網	シラウオ	→				←							
	小型底びき網	マダイ、ヒラメ・カレイ類									←			
	沖合底びき網	ヤリイカ、カレイ類									←			
	さんま慘受網	サンマ								←				→
	流し網	マカジキ等	←											
		イワシ類	←									←		→
	まき網	サバ類											←	→
		マアジ						←						
		ブリ類							→					←
	立縄	キンメダイ	←											→

【地域資源】

○自然・景観	○漁業文化	○祭事・伝統	○博物館等	○食文化
・九十九里海岸 ・銚子ジオパーク ・屏風ヶ浦 ・刑部岬	・イワシ漁 ・地びき網 ・万祝 ・銚子漁港	・大潮祭 ・西ノ下の獅子舞 ・上総とんび ・地曳大漁歌、大漁節	・いわし資料館 ・外川ミニ郷土資料館 ・九十九里ふさと自然公園センター	・かいそう（コトジツノマタ） ・いわし料理 ・貝の浜焼き ・醤油
○テーマパーク等	○アウトドア・スポーツ1	○アウトドア・スポーツ2	○道の駅	○その他
・蓮沼海浜公園 ・銚子ポートタワー ・飯岡刑部岬展望館 ・地球の丸く見える丘展望館	・サーフィン ・海水浴 ・釣り	・サイクリングロード（太平洋岸自転車道） ・銚子ジオパークトレッキング ・オートキャンプ場	・道の駅オライはすぬま ・道の駅季楽里あさひ ・海の駅九十九里	・人気アニメの舞台 ・銚子電鉄 ・水産加工品（缶詰等） ・県立銚子商業高等学校

【海業の概要】

【直売所】

・銚子市、九十九里漁協が運営。地先で獲れた新鮮なハマグリやイワシ等の魚介類を販売。

【遊漁】

・九十九里漁協では年2回沖釣り大会を開催。

【プレジャーボート】

・銚子市漁協では、銚子漁港内の公示施設においてプレジャーボートの係留保管に係る業務を県より受託。

2. 現状分析 <地域別の現状>

銚子・九十九里地域

【海業の概要】

○銚子市漁協

- ・漁協直営食堂「万祝（まいわい）」



<https://www.choshi-gyokyo.jp/facility/facility9.html>

○周辺施設等

- ・水産物即売センター「ウオッセ21」
- ・銚子ポートタワー
- ・銚子マリーナ
- ・銚子マリーナ海水浴場



<https://www.choshi-gyokyo.jp/facility/facility9.html>



<https://trip.iko-yo.net/spots/516>

○海匠漁協

- ・飯岡漁港で開催した水産まつり



<http://jfkaisou.web.fc2.com/gyokyou.html>

○周辺施設等

- ・道の駅「季楽里あさひ」の鮮魚市場と販売連携



<https://kirari-asahi.com/>

○千葉ブランド水産物認定品(生鮮水産物)

銚子つりきんめ



九十九里地はまぐり



千葉県HP

○九十九里漁協

- ・漁協直営の直売所「おさかな新鮮大使」
- ・遊漁船部会では沖釣り大会を年2回開催



<https://jf99.jp/shops/>



<https://99kankou.com/archives/2053.html>

○周辺施設等

- ・海水浴場で観光地びき網体験を実施



<https://99kankou.com/archives/2053.html>

2. 現状分析 <千葉県の特徴整理>

海業推進における千葉県のSWOT分析【4地域共通】

○Strength（強み）

- ・人口620万人台で推移しており、高い県内需要を見込める。
- ・冬暖かく夏が涼しい、海洋性の温暖な気候である。
- ・首都圏に位置し、東京からのアクセスが良い。
- ・成田空港を擁し、海外からのアクセスが良い。
- ・全国有数の水産県であり、多種多様な漁業・水産加工業が立地し、豊かな食文化を有している。
- ・多くの漁港や水産物直売所を有し、先進的に海業に取り組んできた地域がある。
- ・変化に富んだ海岸等の自然・景観を活かしたマリレジャーが盛んである。
- ・漁業や海に関連した多様な歴史・文化資源を有している。
- ・集客力の高いテーマパークやレジャー施設、道の駅等がある。

○Weakness（弱み）

- ・平成5年に比べ、漁業の生産量で約52%、産出額で約44%の減少となっている。
- ・漁業者の減少・高齢化により、担い手が不足している。
- ・海や漁村へアクセスする交通手段が不十分な地域がある。
- ・団体客が減少したことによる、受け入れ体制の見直しや個人客対応の強化が必要である。
- ・多様な自然や文化などの地域資源を十分に活かしていない。
- ・多様なニーズに対応するための、他分野、地域内外の企業等との連携が不十分である。

○Occasion（機会）

- ・高速道路の整備・延伸により首都圏からのアクセスが向上している。
- ・令和5年の宿泊者数については、日本人宿泊客は令和元年比で同水準に、外国人宿泊客は約7割まで回復している。
- ・インバウンド需要が増加している。
- ・「モノ消費」から「コト消費」へシフトしている。
- ・漁港近隣の大型商業施設や道の駅等を多くの観光客が訪れている。
- ・二地域居住、ワーケーション等の需要が高まっている。

○Threat（脅威）

- ・漁村地域では人口減少や高齢化が進行している。
- ・利用が少なくなった漁港施設や漁場が見られる。
- ・海水温の上昇等の影響による海洋環境の変化に対応した生産活動の見直しが求められている。
- ・自然災害や海域での事故を契機とした海離れが懸念される。
- ・日本人の魚食離れが進んでいる。

2. 現状分析 <地域別のまとめ>

各地域の現状分析のまとめ

	内湾地域	内房地域	外房地域	銚子・九十九里地域
○漁業	・多種多様な漁業が営まれており、漁獲された水産物は「江戸前」ものとして、高い評価。	・定置網漁業が盛んに営まれており、年間を通して多種多様な魚種が水揚げ。	・磯根漁業、定置網漁業のほか、キンメダイやカツオ・マグロを対象とする小型漁船漁業等の幅広い漁業が営まれている。	・大型船によるまき網等の沖合漁業のほか、ハマグリやキンメダイ等の約200種の魚類が水揚げ。
○地域資源	・東京湾沿岸の干潟。 ・都心からの良好なアクセス。 ・都心近郊エリアの大規模集客施設。	・温暖な気候を利用した海水浴やマリレジャー。 ・伝統的な郷土料理である房総寿司、なめろう等。	・ダイビングスポット。 ・ファミリー向けの観光地。 ・和田の捕鯨をはじめとした漁業の歴史文化。	・広大な九十九里海岸。 ・サーフィン等のマリレジャー。 ・屏風ヶ浦等の風光明媚な景観。
○海業	・東京湾の干潟を舞台とした、体験コンテンツの提供。	・定置網漁業等で獲れた新鮮な魚介類を楽しむことのできる直売・飲食施設。 ・定置網見学などの漁業体験の提供。	・新鮮な魚介類を楽しむことのできる直売所。 ・マリレジャーなどの体験コンテンツの提供。	・新鮮な魚介類を楽しむことのできる直売所。

2. 現状分析 <千葉県全体の課題>

○千葉県ならではの優位性を活かした海業の展開

- ・千葉県は全国有数の水揚げ量を誇る水産県であり、漁村地域には景観やマリンレジャーなど多くの地域資源があるが、十分に活かされていない。
- ・また、千葉県は首都圏に位置し、成田空港を擁することから、東京・海外からのアクセスも良く、漁業生産を核とした多様なニーズに応えることが可能なポテンシャルを有するも、活用が進んでいない部分がある。

○漁港・漁場・漁村が持つ資源の有効活用

- ・海洋環境の変化や漁業者の減少・高齢化などの要因により、利用が少なくなった漁港施設や漁場の利用、生産活動等の見直しが必要となってきた。
- ・具体的には、釣り堀やプレジャーボート受入れ等による港内水面の活用、陸上養殖事業や直売・飲食施設の整備等による用地の活用、地場水産物の高付加価値化、マリンスポーツとの連携等についての再検討が必要である。

○海業推進の担い手の確保

- ・漁村地域は人口減少や高齢化が進み、漁業生産の継続に注力せざるを得ず、直売・飲食等の多様なニーズに対応するための担い手が不足している。
- ・漁協・漁業者が主体となりながら、他分野・地域内外の企業等と連携して海業を推進し、稼げる漁業への転換を進める体制の構築が求められる。

2. 現状分析 <地域別の課題>

・各地域の現状分析を踏まえ、地域別の課題を整理した。

	内湾地域	内房地域	外房地域	銚子・九十九里地域
○千葉県ならではの優位性を活かした海業の展開	・東京や成田空港からのアクセス性、大規模集客施設や海浜公園等の立地を活かした、新たな交流の促進。	・沿岸域の多様な漁業で獲れる水産物や観光施設を活かした、漁港を拠点とする新たな交流の促進。	・漁村らしい景観と豊かな自然を活かした、新たな交流の促進。	・成田空港からのアクセス性や蓮沼海浜公園の立地を活かした、新たな交流の促進。
○漁港・漁場・漁村が持つ資源の有効活用	・新たな水産物消費の機会創出や東京湾のプレジャーボート需要への対応等。 ・「都市」から「観光地」へ意識を変えていくためのイメージ戦略の検討。	・伊豆大島や富士山等の眺望を活かした取組の検討等、新たなニーズの抽出。 ・これまでの取組を基に、地域資源を連携していく体制の検討。	・小規模漁港の総合的な活用。（変化に富んだ岩礁域のため小規模な漁港が多い）	・知名度の高い九十九里浜と合わせ、海との近接性を活かした漁港利用の検討。 ・観光客のニーズに対応した新たな体験型アクティビティの検討。
○海業推進の担い手の確保	・近隣に立地する大規模集客施設との連携。 ・直売所・飲食施設等の運営を検討するための体制の構築。	・館山市が進める大型客船誘致との連携。 ・ニーズが高いプレジャーボート受入れや首都圏富裕層へ対応するための体制の構築。	・ファミリー向け観光施設等との連携。 ・漁村文化を活かした新たな体験を検討するための体制の構築。	・九十九里浜や蓮沼海浜公園との連携。 ・屏風ヶ浦等の特徴ある景観を活かした新たな体験を検討するための体制の構築。

3.目指す姿 <千葉県全体の方針>

■基本方針1 漁業・漁村が持つ地域資源を有効活用・管理し、持続可能な漁村地域を創出する。

- 漁業者の減少・高齢化を踏まえた、漁場や漁港施設等の効果的な活用。
- 水産資源の減少や海洋環境の変化に対応した、新たなビジネスの創出。
- これまでの取組実績を基に、地域や関係者への影響・波及を考慮した海業の推進。

■基本方針2 漁業・漁村の地域資源と多様なニーズをつなげ、新たな市場を創出する。

- 漁港を拠点とした体験できる地域資源の掘り起こし。
- 地域で獲れる水産物や海でのアクティビティの付加価値を高める新たなニーズを創出。
- 近年増加しているインバウンド等の新たなニーズへの対応。

■基本方針3 民間企業等の多様な主体と連携し、海業の担い手を確保・育成する。

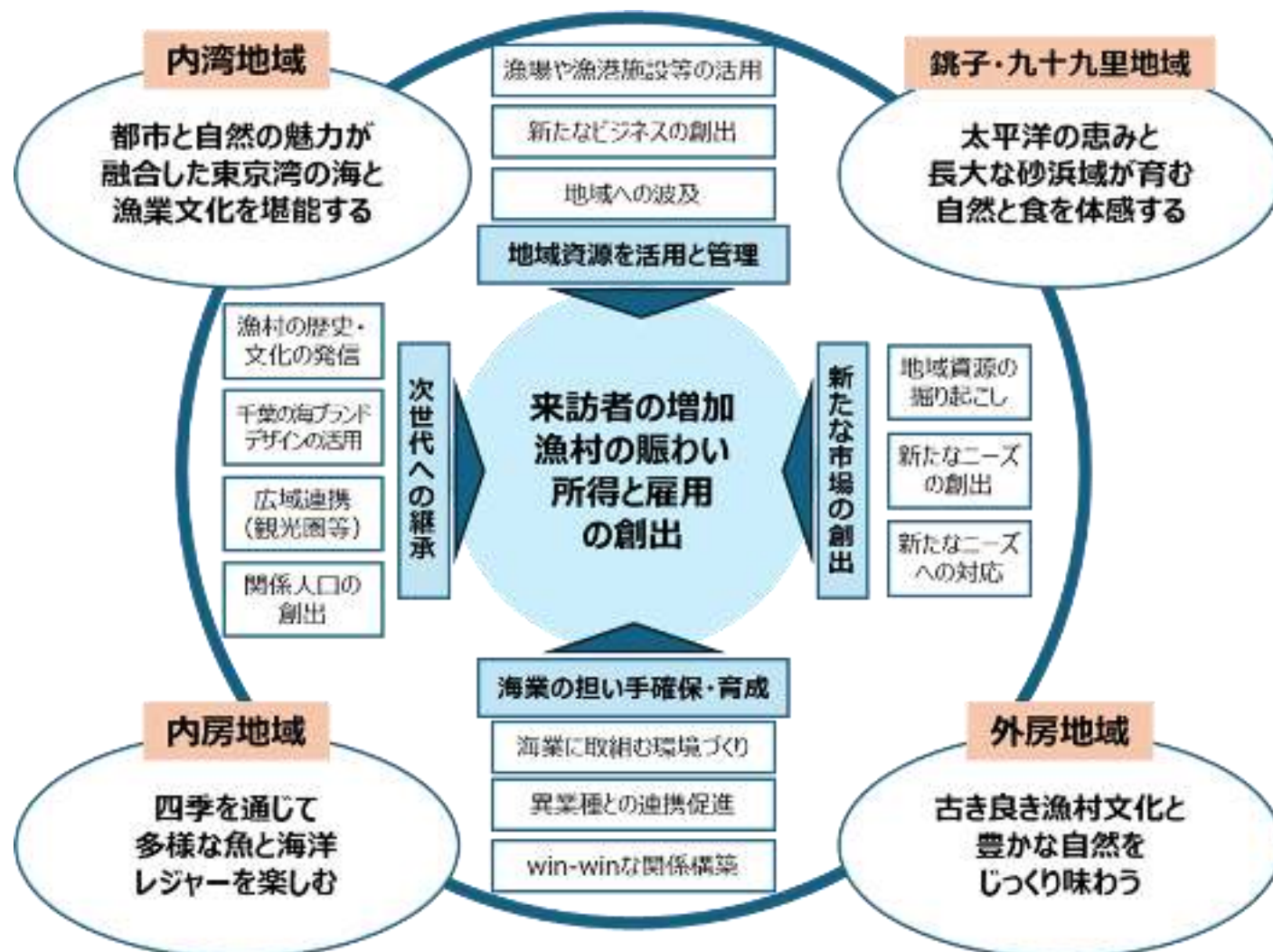
- 漁業者・漁協が海業に取り組みやすい環境の創出。
- 海業に取り組む意向のある漁業者・漁協と、民間企業等との連携の促進。
- 漁業者・漁協と多様な主体とのwin-winな関係構築。

■基本方針4 海や漁業・漁村に関する魅力を次世代に継承する。

- 海や漁業・漁村が持つ歴史・文化の積極的な発信。
- 千葉の海ブランドデザインの活用。
- 多様な主体が広域に連携し、漁業・漁村の魅力を伝えるプロジェクトの推進。
- 様々な人たちが海や漁業・漁村の魅力に触れ、地域に関わる機会の創出。



3.目指す姿 <千葉県将来像>



◆地域別方針 「都市と自然の魅力が融合した東京湾の海と漁業文化を堪能する」

主な海業の方向性

○立地を活かしたにぎわいづくりや消費増進

【主なターゲット】

- ・県内、首都圏在住一般観光客
- ・アウトレットなど広域的に集客する大規模商業施設への来訪者

【取組例】

直 売 所：江戸前水産物の販売
食 堂：東京湾や富士山等の眺望を活かした施設の整備
地域連携：大規模集客施設や地域飲食店との連携
地域連携：調理師専門学校と連携した魚料理教室
地域連携：テーマパークと漁協直売施設を巡るスタンプラリー
地域連携：漁港施設を利用したマリンスポーツ等のイベント など

○MICEやインバウンド等の新たな来訪者への対応

【主なターゲット】

- ・幕張新都心等への来訪者
- ・インバウンド(成田空港、羽田空港、都心部宿泊施設等利用者)

【取組例】

景観活用：ワーケーション施設の整備
魚食体験：寿司や丼ものづくり体験の実施
地域連携：アニメツーリズム（千葉市）との連携
交流促進：工場の夜景を海から観賞する漁船クルーズ
地域連携：空港等の拠点施設での水産物販売イベント
地域連携：空港等の拠点施設を起点にバスで巡る漁村ツアー

など

○海からのアクセス受入れの充実による交流促進

【主なターゲット】

- ・首都圏在住富裕層

【取組例】

漁港活用：プレジャーボートの係船・陸揚施設の整備
地域連携：既存係留施設と連携した交流施設の整備
地域連携：富裕層への出張料理サービス（BBQなど）
交流促進：漁港周辺海域における地域ルールの検討
交流促進：東京湾内のマリーナ施設に対する情報提供 など

○漁業体験等による歴史や文化の継承

【主なターゲット】

- ・市町村内在住者、児童・生徒
- ・県内、首都圏在住一般観光客
- ・アウトレットなど広域的に集客する大規模商業施設への来訪者

【取組例】

漁業体験：リリ養殖体験、オーナー制の導入、簀立て遊び
漁業体験：漁業体験プログラム、潮干狩りの情報発信
教育体験：底びき網で獲れた海ごみから学ぶエコツアー
教育体験：干潟を学ぶエコツアー（生態系観察等）
教育体験：料理系インフルエンサーによる

江戸前水産物の魚食モデルツアー

など

◆地域別方針 「四季を通じて多様な魚と海洋レジャーを楽しむ」

主な海業の方向性

○多様な魚種を活かしたにぎわいづくりや消費増進

【主なターゲット】

- ・県内、首都圏在住一般観光客
- ・マリンレジャーや漁業体験の利用者

【取組例】

直 売 所：沿岸域の多様な漁業で獲れる水産物の販売
食 堂：伊豆大島、富士山等の眺望を活かした施設の整備
食 堂：漁協直営食堂での婚活イベント
地域連携：アジフライフェアや道の駅との連携
地域連携：ドラマ等のロケツーリズムとの連携
地域連携：郷土料理を活かしたメニュー開発
地域連携：東京湾フェリーと連携した魚食普及イベント
交流促進：道の駅や漁協直売施設を巡るスタンプラリー など

○アウトドア・スポーツ資源を活用したにぎわいづくり

【主なターゲット】

- ・県内、首都圏在住一般観光客
- ・県内家族連れ

【取組例】

利便性向上：休憩施設の整備
釣 り 体 験：海釣り施設等新しい集客のある施設の整備
地 域 連 携：海洋レジャー施設、宿泊施設等との連携
地 域 連 携：東京湾フェリーと連携したネイチャーツアーの開発
地 域 連 携：漁港施設を利用したマリンスポーツ等のイベント
交 流 促 進：漁船を利用した観光クルーズの実施
交 流 促 進：釣りインフルエンサーによる釣りモデルツアー など

○海からのアクセス受入れの充実による交流促進

【主なターゲット】

- ・首都圏在住富裕層

【取組例】

漁港活用：プレジャーボートの係船・陸揚施設の整備
地域連携：既存係留施設と連携した交流施設の整備
地域連携：富裕層への出張料理サービス（BBQなど）
交流促進：大型客船誘致と連携した体験プログラム開発（館山市）
交流促進：漁港周辺海域における地域ルールの検討
交流促進：東京湾内のマリーナ施設に対する情報提供
交流促進：伊豆大島、三浦半島と連携したプレジャーボート向け推奨航路の設定 など

○漁業体験等による歴史や文化の継承

【主なターゲット】

- ・市町村内在住者、児童・生徒
- ・県内、首都圏在住一般観光客

【取組例】

地域連携：渚の博物館（館山市立博物館分館）等の既存施設、
県内の魚著名人による海洋教育との連携
漁業体験：漁業体験を盛り込んだ教育旅行や渚泊の推進
教育体験：漁業から学ぶ海ごみ等のエコツアー
教育体験：ダイビングで海洋環境の変化を知るエコツアー
教育体験：小中学生向け磯観察等の体験授業
教育体験：料理系インフルエンサーによる定置網漁獲物の
魚食モデルツアー
教育体験：ダイビングと連携した水難救助講習会の実施 など

◆地域別方針「古き良き漁村文化と豊かな自然をじっくり味わう」

主な海業の方向性

○多様な魚種を活かしたにぎわいづくりや消費増進

【主なターゲット】

- ・県内、首都圏在住一般観光客
- ・マリンレジャーや漁業体験の利用者

【取組例】

直 売 所：沿岸・沖合域の多様な漁業で獲れる水産物の販売
地域連携：おらが井や伊八めし、朝市等との連携
地域連携：イセエビ、マカジキ、キンメダイ、タコ等の千葉ブランド水産物を活用した商品・メニュー開発
地域連携：キャンプ場やゴルフ場での水産物販売・イベント開催
地域連携：キャンプ場、ゴルフ場等レクリエーション施設から漁村への送客・周遊サービス
地域連携：県立大原高等学校と連携した商品開発
交流促進：アワビ、イセエビ等高級食材を活用したガストロノミーツーリズム など

○地域施設等との連携による集客力の強化

【主なターゲット】

- ・県内、首都圏在住一般観光客
- ・県内外の家族連れ

【取組例】

集客力強化：新しい集客施設（海釣りやBBQ）の整備
地 域 連 携：県立中央博物館分館 海の博物館、かつら海公園、鴨川シーワールド、いすみ鉄道、宿泊施設との連携（土産品・ツアー開発）
地 域 連 携：アニメツーリズム（鴨川市）との連携
地 域 連 携：旅行系インフルエンサーによるモデルツアー等の検討
地 域 連 携：朝市や漁協直売施設を巡るスタンプラリー
交 流 促 進：ホテル滞在者や移住者向け体験プログラム開発
交 流 促 進：新たな海業拠点施設（ワーケーション等）の整備
交 流 促 進：遊漁サービス支援施設の設置・情報発信 など

○海からのアクセス受入れの充実による交流促進

【主なターゲット】

- ・首都圏在住富裕層

【取組例】

漁港活用：プレジャーボートの係船・陸揚施設の整備
地域連携：既存係留施設と連携した交流施設の整備
交流促進：漁港周辺海域における地域ルールの検討
交流促進：近隣のマリーナ施設に対する情報提供 など

○漁業体験等による歴史や文化の継承

【主なターゲット】

- ・首都圏の児童・生徒・観光客
- ・県内、首都圏在住一般観光客

【取組例】

教育体験：教育プログラムの実施（和田の捕鯨、白浜の海女文化）
漁業体験：漁業体験を盛り込んだ教育旅行や渚泊の推進
教育体験：波の伊八を巡るアートツーリズム
教育体験：漁業から学ぶ海ごみ等のエコツアー
教育体験：料理系インフルエンサーによる郷土料理モデルツアー
教育体験：サーファーと連携した水難救助講習会の実施 など

4. 今後の取組 <地域別方針>

銚子・九十九里地域

◆地域別方針 「太平洋の恵みと長大な砂浜域が育む自然と食を体感する」

主な海業の方向性

○多様な魚種を活かしたにぎわいづくりや消費増進

【主なターゲット】

- ・県内、首都圏在住一般観光客
- ・県内家族連れ

【取組例】

直 売 所：既存直売施設等のリニューアル
食 堂：サバ、イワシ、ハマグリ、キンメダイを使ったメニュー開発
地域連携：銚子電鉄やアニメツーリズム（銚子市）との連携
地域連携：空港周辺の集客施設での水産物販売・イベント開催
地域連携：道の駅や漁協直売施設を巡るスタンプラリー
交流促進：直売施設等でのレンタサイクルの提供 など

○遊漁船業を核とした交流促進

【主なターゲット】

- ・県内、首都圏在住一般観光客
- ・県内家族連れ
- ・インバウンド（成田空港利用者）

【取組例】

釣 り 体 験：成田空港の利用者を想定した釣り体験プログラム
利便性向上：遊漁船利用者を対象とした待合所、シャワー施設の整備等
交 流 促 進：漁港周辺海域における地域ルールを検討
交 流 促 進：漁船を使った洋上風力発電の見学ツアー
交 流 促 進：釣りインフルエンサーによる遊漁船モデルツアー
地 域 連 携：釣った魚の地域通貨買取サービス など

○多様なアウトドア・スポーツ体験による交流促進

【主なターゲット】

- ・県内、首都圏在住一般観光客
- ・県内家族連れ

【取組例】

漁業体験：九十九里浜を利用した地びき網等の体験
景観活用：屏風ヶ浦、ホエールウォッチング等の観光プログラムの実施
地域連携：銚子ジオパークを巡るアドベンチャーツーリズム
交流促進：漁港内の水域を活用した海釣り施設の検討
交流促進：サーフィンを中心としたスポーツツーリズムとの連携
交流促進：サイクリングの休憩・撮影スポットに漁港を活用 など

○漁業体験等による歴史や文化の継承

【主なターゲット】

- ・市町村内在住者、児童・生徒
- ・県内、首都圏在住一般観光客

【取組例】

教育体験：イワシ漁業等の歴史・文化を学ぶ教育プログラムの実施
教育体験：漁港施設の有効活用による体験・教育プログラムの実施
教育体験：漁業から学ぶ海ごみ等のエコツアー
教育体験：小中学生向け地びき網等体験授業
教育体験：料理系インフルエンサーによる
銚子を丸ごと食べるモデルツアー等の検討
地域連携：水産加工業者と連携した缶詰作り体験 など

4. 今後の取組 <経済効果分析>

①直売所型モデル

■事業の概要：

- ・地元で漁獲された水産物の鮮魚や加工品を販売する。直売所を整備する前段階では、朝市等で販売する。
- ・施設整備：漁協（朝市は荷さばき所等を利用）
- ・施設運営管理：漁協

■取扱商品：

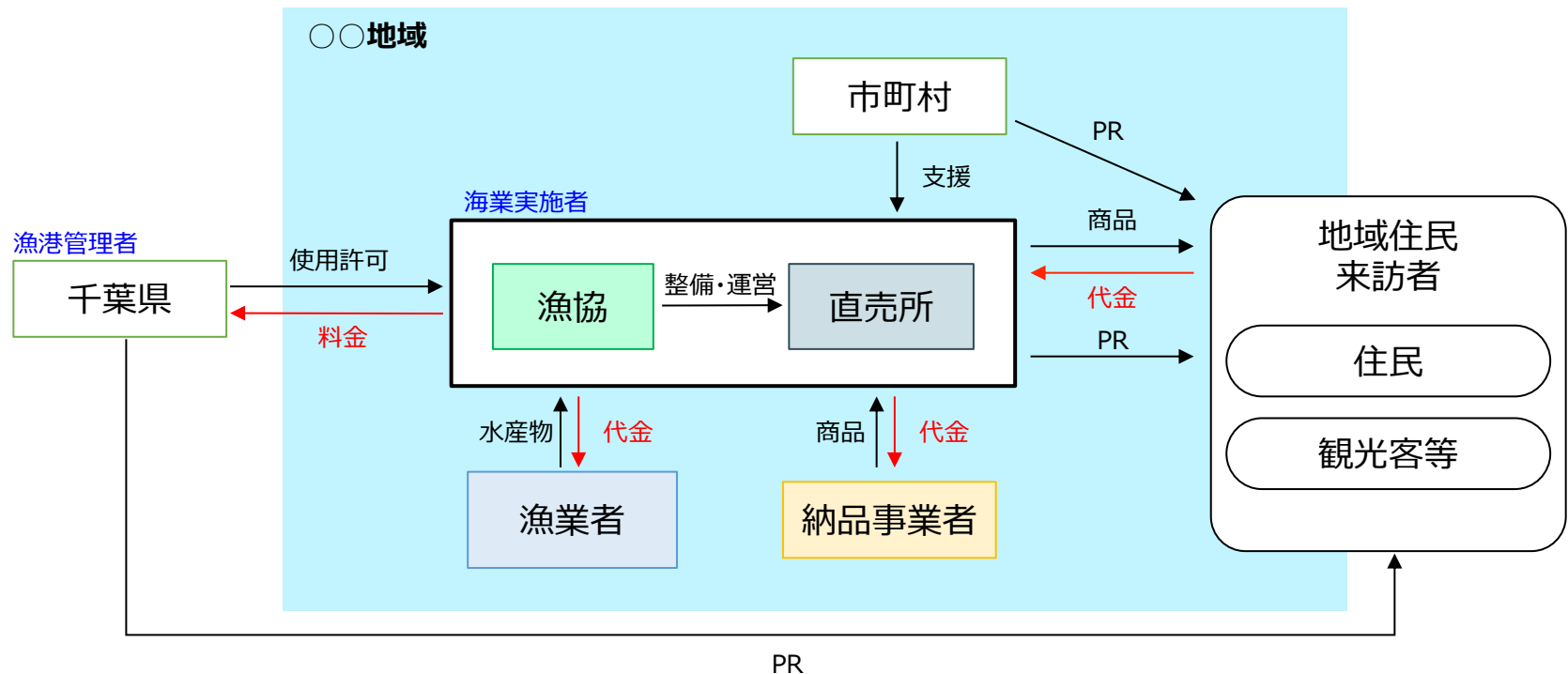
- ・地元でとれた水産物の鮮魚や加工品。加工品については近隣の事業者とも連携する。

■サービスのセールスポイント

- ・海の眺望が楽しめる漁港の目の前で、新鮮な水産物を買うことができる臨場感。

■販売ターゲット、販売戦略

- ・ターゲット：地元および近隣市町村住民、観光客
- ・販売戦略：自治体や観光協会と連携し、SNSやHP、チラシ等でPRを行う。



4. 今後の取組 <経済効果分析>

①直売所型モデル

事業規模想定試算【直売所型】

項目	数値	単位	備考
年間購入者数	29,333	人	
客単価	1,500	円	漁業センサス及び県内漁協等の既存資料より平均単価を仮定
売上金額	44,000,000	円	水産物直売所千葉県平均（農林水産省「令和4年度6次産業化総合調査」）
営業日数	273	日	水産物直売所千葉県平均（農林水産省「令和4年度6次産業化総合調査」）
1日平均購入者数	107	人	
1日当たり売上	160,500	円	

事業規模収支想定試算【直売所型】

	項目	金額	比率	備考
収入（売上）		44,000,000	100%	
	1 売上	44,000,000		水産物直売所千葉県平均（農林水産省「令和4年度6次産業化総合調査」）を参考
支出		41,800,000	95%	支出の比率については、県内漁協の資料を参考とした
	1 原材料費	26,400,000	60%	内訳：仕入高、消耗資材費
	2 労務費	4,400,000	10%	内訳：給料手当、法定福利費
	3 経費	11,000,000	25%	内訳：販売手数料、水道光熱費、消耗備品費、施設管理費、減価償却費、雑費等
営業利益		2,200,000	5%	

4. 今後の取組 <経済効果分析>

② 飲食型モデル

■ 事業の概要：

- ・漁港用地を活用し、民間企業と連携し地元の水産物を提供する施設を開設する。
- ・施設整備：漁協・市町村
- ・施設運営管理：漁協

■ 取扱商品：

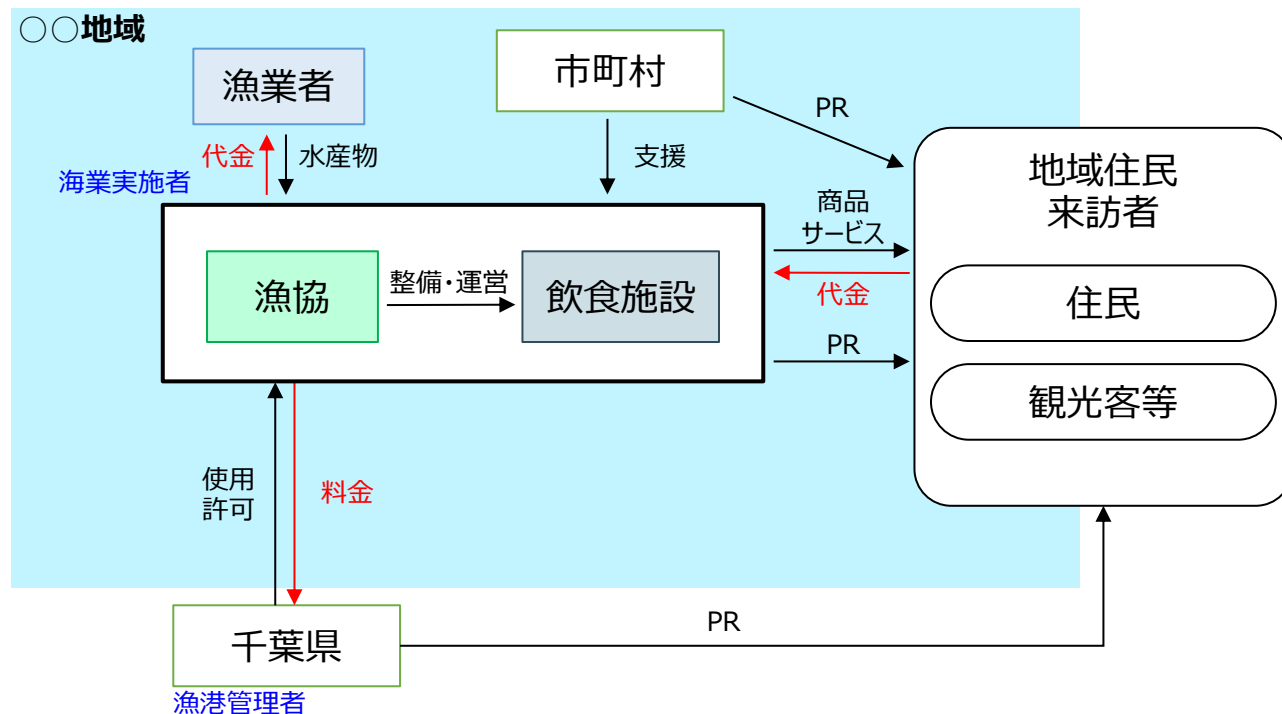
- ・地元水産物を中心とした海産物を楽しむことができるレストラン。

■ サービスのセールスポイント

- ・目の前に漁港や海岸の眺望が広がる中、新鮮な水産物を使った料理を食する楽しみ。

■ 販売ターゲット、販売戦略

- ・ターゲット：地元および近隣市町村住民、観光客
- ・販売戦略：自治体や観光協会と連携し、SNSやHP、チラシ等でPRを行う。



4. 今後の取組 <経済効果分析>

事業規模想定試算【飲食施設型】

項目	数値	単位	備考
年間購入者数	48,000	人	県内漁協の資料より
客単価	1,580	円	
売上金額	76,000,000	円	県内漁協の資料より
営業日数	273	日	直売所と同日数
1日平均購入者数	176	人	
1日当たり売上	278,080	円	

事業規模収支想定試算【飲食施設型】

	項目	金額	比率	備考
収入（売上）		76,000,000	100%	
	1 売上	76,000,000		県内漁協の資料を参考とした
支出		72,200,000	95%	支出の比率については、県内漁協の資料を参考とした
	1 原材料費	30,400,000	40%	内訳：仕入高、消耗資材費
	2 労務費	30,400,000	40%	内訳：給料手当、法定福利費、福利厚生費
	3 経費	11,400,000	15%	内訳：販売手数料、水道光熱費、消耗備品費、施設管理費、減価償却費、雑費等
営業利益		3,800,000	5%	

4. 今後の取組 <千葉県における海業の推進体制>

各主体の取組の方向性と推進体制を以下の通り整理する。

漁協・漁業者

- ・市町村や県、観光協会等との連携により地域資源を有効活用・管理し海業に取り組む。
- ・積極的に民間企業等と連携し、観光客や来訪者のニーズを捉えた海業に取り組む。
- ・漁港管理者と連携し、漁港施設の利用状況を見直し、海業への展開可能性を検討する。
- ・海業の担い手やリーダーとなる人材の育成に努める。
- ・持続的な漁業・海業に向け、資源管理や漁業・漁港を核とした地域活性化に取り組む。

市町村等

- ・地域協議会の設置・運営や広域的な海業の取組を支援する。
- ・漁協・漁業者と民間企業等外部の主体との連携を支援し、漁協・漁業者が海業に取り組みやすい環境をつくり、地域の活性化につなげる。
- ・漁港施設等活用推進制度を活用し、漁港施設等の効率的な利用を促進する。
- ・地域住民や来訪者に向けて海や漁村の魅力を発信する。
- ・漁協・漁業者による資源管理や漁業・漁港を核とした地域活性化、担い手の確保・育成を支援する。

県

- ・市町村等と連携し、地域協議会の設置・運営や広域的な海業の取組を支援する。
- ・研修会の開催や、漁協・漁業者と民間企業とのマッチング等、伴走支援を実施する。
- ・漁港施設等活用推進制度を活用し、漁港施設等の効率的な利用を促進する。
- ・漁村の魅力発信等、県内各地域の海業推進に向けた広報を実施する。
- ・市町村等と連携し、漁協・漁業者による資源管理や漁業・漁港を核とした地域活性化、担い手の確保・育成を支援する。

4. 今後の取組 <千葉県における海業の推進体制>

千葉県海業推進体制のイメージ

